

施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	政策推進部次長 清水 創一
施策番号	65	施策名	にぎわいと交流のあるまち		総合計画掲載頁
関係課名	企画政策課、産業課、教育行政課、道路河川課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名		単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
		市民	人口	人	61,070	61,356	61,153	61,604	-
意 図	・ 中心市街地や鉄道駅周辺地区を活性化させにぎわいを創出する			成果指標名	図書館学習交流プラザ利用者数(H27までは既存3施設の利用者の合計)				
	・ まつりやイベントなどの開催によりにぎわいづくりを支援し、市の活性化につなげる				いいじゃんまつり踊り手の参加人数				
					三大まつり総観客動員数				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
指標	図書館学習交流プラザ利用者数 中央図書館入館者数とサンライブ貸館の利用者数の合計	人	295,460	324,072	325,000	327,760	355,500	-
	指標設定の考え方と把握方法							
指標	いいじゃんまつり踊り手の参加人数	人	2,300	2,350	2,300	2,270	2,300	-
	指標設定の考え方と把握方法							
指標	三大まつり総観客動員数	人	118,000	121,000	120,000	123,000	120,000	120,000
	指標設定の考え方と把握方法							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	指標設定の考え方と把握方法							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民の参加により市民と地域が一体となって三大まつりを盛り上げることで、市民相互の交流を深める。			
	行政	市民の交流やにぎわいが創出できる空間の整備を進め、人の動きに応じたまちづくり構想を策定する。			
達成度評価	近隣との比較	豊田おいでんまつり 観客数	360,000人/1日間	(人口比 84.6%)	
	過去3年間の実績との比較	三大まつり観客動員数は、ほぼ横ばいの状況で、成果指標に大きな変動はない。			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地や駅周辺地域において、継続的ににぎわいを創出し、活性化につなげるため、市民が自主的に開催するイベントに対する支援を行うとともに、土地利用の見直しを行う必要がある。 ・ 事業者自らが独自性のある魅力的な店づくりを行うことにより、既存商店等の魅力をアップさせることが活性化につながるようになる。 				
課題を踏まえた今後の取組の方向性	(今後の取組の方向性) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次みよし市総合計画地域別構想に基づく、各地域の特性を生かしたまちづくりを進める。 ・ 中心市街地基本構想に基づく中心市街地のにぎわいの創出を図る。 ・ 三好ヶ丘駅周辺をカリヨンハウスを核として市の北の玄関口にふさわしいにぎわいづくりを進める。 ・ 事業者自らが取り組むまちの活性化や既存商店の魅力づくりに対して市として積極的に支援する。 ・ 事業者への商工業活性化補助金等を活用した支援策を継続。 ・ 駅前広場整備工事の実施。(R1～R2) ・ 地域公共交通網形成計画を策定(R1)し、公共交通により、人と人との交流や人とまちとの連携が生まれるなど、地域の活性化を目指した取組を進める。 				
市民意識	重要度	低い	満足度	低い	平成30年度市民アンケート調査による